

## Japanese Language Learning before Coming to Japan(I Japanese Language Education)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-02-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 良造, 袴田, 麻里, 熊井, 浩子 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.14945/00029354">https://doi.org/10.14945/00029354</a>

## 渡日前日本語学習

佐々木良造・袴田 麻里・熊井 浩子

### 1. 渡日前日本語学習の必要性

静岡大学大学院に在籍する留学生は、2015年度まで日本語の習得のために国際交流センター（現国際連携推進機構）科目として日本語を学習していたが、大学教育センターが開講する「留学生科目」「日本語・日本文化研修科目」を正規に受講できるよう、規則を整備した。修得した単位は大学院の課程を修了するための単位には算入されないが、成績通知表に記載されるため、日本語能力試験などを受験しない場合でも、日本語力の証明とすることができるようになった。

「日本語・日本文化研修科目」には、入門レベルの「日本語1」、初級レベルの「日本語2」、中級前半レベルの「日本語3」、中級後半レベルの「日本語4」があり、上級レベルの学習者は「留学生科目」を履修する。

総合科学技術研究科英語コース（以下、英語コース）に入学した留学生の日本語科目履修は、1年目に集中する。入学者の7～8割は、日本語未習である。2015年度、2016年度、2017年度入学者では、日本語未習者のおおよそ9割が、入学直後の第1学期に「日本語1」を受講するが、修了者は5～6割である。第2学期には、第1学期に「日本語1」を修了した学生が「日本語2」を履修し、6～7割が修了している。一方で、入学者の半数が日本語科目を受講しない。第1学期に「日本語1」を修了しなかった学生は、第2学期で再履修しない傾向がある。第3学期には、日本語科目を履修する学生はさらに減って入学者数の3割程度になるが、履修する場合は「日本語3」が多い。

英語コースに入学した留学生には、日本語学習継続の困難点が2点ある。まず在籍期間が2年間（10月入学、2年後の9月卒業）と限られていることである。入学者の約9割は海外からで、来日は入学とほぼ同時である。そのため、新しい環境への適応と研究活動を並行して行う必要が生じ、時間的にも精神的にも余裕を持って大学生活を送ることができるとは限らない。そのため、日本語学習を継続することが困難となる場合が多い。

2点目は、英語コースで学ぶ留学生は、日本語を使う機会が限られていることである。課程修了には日本語が不要であり、指導教員は効率的に研究活動を進めるため英語でのコミュニケーションを優先する。その結果、日本語学習への動機付けが弱くなる傾向にある。

ディスコ（2021）によれば、採用にあたってJLPTの基準を設けていないという企業は38%であるが、85%の企業は内定時に「日常会話レベル」以上の日本語力を求めている。このことから、日本国内での就職にあたっては、少なくとも初級終了程度以上の日本語運用力（読み書きを含む）が求められていると推測される。

### 2. 渡日前日本語学習機会提供の契機

前述した困難点に加え、英語コース入学者の大半を占めるABP留学生には非漢字圏出身の留学生が多く、漢字を含む文字学習に苦手意識が強いことも特徴の一つである。2021年度入学者34名の出身地域は、南アジア20名、東南アジア11名、東アジア4名である。限

られた在籍期間で日本語力を向上させるには、早期にひらがな・カタカナを習得し、語彙や表現を増やしながらかできるだけ早く漢字学習を開始する必要がある。国際連携推進機構では、英語コースが開設された2015年度から、入学意思が確認できた入学予定者には、入学前の7月にひらがな・カタカナ自習サイトを紹介し、来日前の学習を勧めてきたが、学習サポートやフォローアップを行わなかったため、学習状況の把握は難しかった。

2019年末以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年度10月入学者は渡日が1～2ヶ月遅れた。母国での待機期間中に文字学習が進むことを期待したが、例年とそれほど変わらない状況であった。その後も渡航制限が継続し、2021年度10月入学者も渡日が遅れることが分かり、2019年度の反省を踏まえて自習に任せるのではなく、ひらがな・カタカナのオンライン授業を実施することにした。

### 3. 渡日前日本語学習の目的と目標

以下は、英語コース入学予定者が日本での就職に必要な日本語能力を獲得するまでのモデルプランである。

year	month	Japanese Language Study and Job Hunting	If you complete Hiragana and Katakana before coming to Japan,
2021	July	Register the summer online course	
	Aug. – Sep.	Start Hiragana, Katakana, and Greetings & Expressions	
	September	Come to Japan	
	October	Start Japanese 1 course	You can read and write Japanese.
	December		
2022	February	Finish Japanese 1 Course	If you complete the course, you can reach N5 level.
	April	Start Japanese 2 Course	
	May - July	Apply Internship	
	July	Take the JLPT Finish Japanese 2 Course	If you complete the course, you can reach N4 level.
	Aug. – Sep.	Go for Internship	
	October	Start Japanese 3 Course	
	December	Take the JLPT	
2023	January	Start Job Hunting	
	February	Finish Japanese 3 Course	If you complete the course, you can reach N3 level.
	April - July	Japanese 3 or 4 Course	
	July	Take the JLPT	
	September	Graduation	
	Oct. or Apr.	Start Working	

1年で初級の日本語力を身につける計画で、渡日前にオンライン授業は、この計画遂行の前提となる。2021年度入学予定者には、このモデルプランをひらがな・カタカナのオンライン授業開始の通知時に提示した。

#### 4. 渡日前日本語学習の位置づけ

以上のことから、渡日前教育では、ひらがな・カタカタと、それを使っての簡単な語彙や基本的な挨拶・会話を学習することとした。

ある程度文字に慣れることは、渡日や日本語学習の準備の一つとして学生の安心感を高める要因ともなるし、学習の範囲も明確なので、達成感や満足感を高め、入学後に本格的な日本語学習を始める動機付け・意欲にもつながると思われる。また、単に文字だけを単体で学習するのではなく、習った文字を意味のある単語と結びつけることで、より楽しく、かつ効果的に学習できると考えた。

さらに、日本に来た時にすぐに役立つ簡単な挨拶やサバイバル会話を学ぶことは、安心感や日本語学習に対する意欲を高める効果があると思われる。同時に、挨拶・会話の学習で文字と音とを結びつけるとともに、ある程度の拍の認識や特殊音節の理解にも結びつくと考えられる。

このような学習項目について、以下のことができるようになることを目指した。

1. ひらがな・カタカナが読めるようになること
2. スラスラではないにせよ、ひらがなやカタカナが書けるようになること
3. 簡単な単語を理解すること
4. 渡日後に必要なとなるサバイバル的な挨拶・会話によるコミュニケーションができるようになること
5. 拍・特殊音節をある程度意識すること

ひらがな・カタカナを効果的に学習するとともに、それを使って簡単な語彙や挨拶・会話を学習できることを前提として、教材の選定をおこなった。

文字については前述のように以前から修士・博士の10月入学の学生を対象に、オンラインの無料日本語学習サイト「ジャパニーズ・レッスン・ドットコム」の以下の文字学習サイトのURLを伝え、自習するよう促していたが、そのサポートやフォローアップは行われていなかった。

For Hiragana

[http://japanese-lesson.com/characters/hiragana/hiragana\\_writing.html#instructions](http://japanese-lesson.com/characters/hiragana/hiragana_writing.html#instructions)

For Katakana

[http://japanese-lesson.com/characters/katakana/katakana\\_drill/index.html](http://japanese-lesson.com/characters/katakana/katakana_drill/index.html)

このサイトは動画や音声も含まれていて、使いこなせば非常に効果的な文字学習が可能であるが、構造がわかりにくいという問題があった。そこで、令和2年度前期にコロナ禍

の対応として機構教員が初級の文字学習の授業で作成したコースガイドと教材を利用して、当サイトのReadingとWriting部分及び習った文字を用いた単語の練習（Practice）や、翌回の単語クイズを組み合わせてワンセットとして授業を進めることになった。

ひらがな・カタカナ学習の流れ

● ジャパニーズ・レッスン・ドットコム Hiragana/Katakana Reading → Writing

↓

● Practice（習った文字を使った単語を理解し、書く練習）

↓

● 単語クイズ（翌回）

また、簡単な挨拶やサバイバル会話については、国際交流基金作成のオンライン教材『いろどり：生活の日本語』入門の第1課と第2課を学習することになった。無料で教材のPDFと音声データがダウンロードできること、以下のCan-doがこの渡日前教育の目的・内容に合致したことが選定の主な理由である。

Can-do（「Can-doチェック『いろどり』入門（A1）」より）

第1課

- 01 人に会ったとき、あいさつをすることができる。
- 02 人と別れるとき、あいさつをすることができる。
- 03 人にお礼を言ったり、謝ったりすることができる。
- 04 「おはよう」や「ありがとう」などのメッセージスタンプを見て、意味を理解することができる。

第2課

- 05 相手の言っていることがよくわからないとき、聞き返すことができる。
- 06 日本語やほかのことばができるかどうか質問したり、質問に答えたりすることができる。
- 07 日本語の言い方がわからないとき、どう言えばいいか質問して、その答えを理解することができる。

## 5. 渡日前日本語学習実施前準備

2021年7月に国際交流課（入国・入学の手続きの事務担当者）より、英語コース2021年度入学予定者全員に入学前に日本語学習の機会があることを通知したところ、23名が受講を希望した。この23名には、Zoomセッションの希望調査、資料・教材を国際連携推進機構教員よりメールで送付した。

週に1回のZoomセッションは、入学者の母国との時差を考慮し、午前（11:00-11:45）と午後（13:30-14:15）のどちらかを選択できるようにした。

## 6. 渡日前日本語学習の実施と問題点

以上のような状況を踏まえ、渡日前日本語学習の範囲は、

1. ひらがな・カタカナの読み書き
2. 基本的な語彙の導入と語彙の読み書き練習

### 3. 基本的なあいさつ (『いろどり』第2課まで)

とした。

ただし、ひらがなのア段長音 (例: おかあさん)、イ段長音 (おにいさん)、ウ段長音 (すうじ)、エ段長音 (せんせい)、オ段長音 (おとうさん) を含む語彙を除外した。対面授業であれば、個別に発音と表記の確認することができるが、週1回45分のZoomを利用したオンライン授業では個別指導が十分できないのではないかと考えたからである。

2021年度の渡日前日本語学習のスケジュールは、以下のとおりである。

8月	5日	(木)	オリエンテーション、『いろどり』第1課-1
	6日	(金)	ひらがな学習開始
	10日	(火)	ひらがな学習終了
	11日	(水)	カタカナ学習開始
	16日	(月)	カタカナ学習終了
	19日	(木)	『いろどり』第1課-2、ひらがなの復習
	26日	(木)	『いろどり』第1課-3、ひらがなの復習
9月	2日	(木)	『いろどり』第2課-1、カタカナの復習
	9日	(木)	『いろどり』第2課-2、カタカナの復習
	16日	(木)	『いろどり』第2課-3、カタカナの復習

8月6日から10日までのひらがな練習と8月11日から16日までのカタカナ練習は、提示された練習課題を、受講生が任意の時間に各自で練習し、手書きしたプリント撮影してJPEGまたはPDF形式に変換し、Slackのダイレクトメッセージで担当教員に提出した。担当教員はJPEGまたはPDFファイルに朱を入れ、Slackのダイレクトメッセージで受講生に返却した。ひらがなの復習およびカタカナの復習も同様に課題を提示し、フィードバックを行った。

対面授業では、例と異なる形の文字を書いた場合、担当教員がその場で書いて見せ、どの部分がどう異なるかを指摘することができるが、電子ファイルのやりとりでは、ひらがな・カタカナの文字の形の修正をすること、つまり、どの部分をどう修正すべきかを伝えることができなかった。

『いろどり』を使った基本的な挨拶の練習は、担当教員のモデル発話につづく発話練習、いわゆる“Repeat after me,”の繰り返しに終始し、1回45分という時間の制限もあり、個別の発音チェックや活動はできなかった。

Zoomを利用したオンライン日本語学習で対面授業と同じことを行おうとすると、Zoomというシステムの制約上、実施できないこともある。例えば、対面授業では「隣の人と2人で練習しましょう」という活動や、一人一人の発音をチェックする活動は容易に行える。しかし、Zoomで同じ事を実施しようとする場合、システムとしてはブレイクアウトルームを利用して2人1組のペアワークが可能だが、ブレイクアウトルームへの移動、ブレイクアウトルームからメインルームへの移動、教員による複数のブレイクアウトルームのチェック、ブレイクアウトルームへの(あるいは、からの)移動によるZoomセッション

の切断といったことが起こり、対面授業で容易に行える活動もZoomを利用した場合、円滑に行くとは限らず、いきおい、“Repeat after me,”の繰り返し練習に終始してしまった。

## 7. 渡日前日本語学習終了後の日本語学習の継続状況

渡日前日本語学習の効果を検証するひとつの指標として、入学後の日本語学習継続率に着目してみた。以下に述べる受講者数、単位取得者数は、静岡キャンパスと浜松キャンパスの両キャンパスのデータをまとめている。まとめた理由としては、対面授業であれば両キャンパスそれぞれに開講されている「日本語1」であるが、2021年度はオンライン・オンデマンド形式で授業を実施し、両キャンパス共通の科目として「日本語1」を開講したためである。

2021年度夏の渡日前日本語学習を受講した23名のうち、入学後の2021年後期の日本語入門レベル「日本語1」の受講生は22名で、継続率は96%であった。22名のうち、「日本語1」単位を取得した受講生は13名であった。ただし、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のための入国制限により、入学後渡日できなかった留学生に対して「遡り休学」を認めたため、受講生は22名だったが、単位付与の対象となる学生は19名であった。その結果、渡日前日本語学習受講生の「日本語1」の単位取得率は68%（受講者19名中13名）となった。比較のため、対面授業で開講していた2017年から2019年までの「日本語1」の単位取得率を算出してみた。単位取得率は以下のとおりである。なお、2020年度の「日本語1」は入国制限により、受講者がおらず、不開講となった。

2017年度後学期：65%	静岡キャンパス：45%（科目登録者数11、単位取得者数5）
	浜松キャンパス：75%（科目登録者数20、単位取得者数15）
2018年度後学期：70%	静岡キャンパス：57%（科目登録者7、単位取得者数4）
	浜松キャンパス：75%（科目登録者数20、単位取得者数15）
2019年度後学期：55%	静岡キャンパス：100%（科目登録者数3、単位取得者数3）
	浜松キャンパス：50%（科目登録者数26、単位取得者数13）

年度・キャンパスによって、単位取得率に幅があるものの、「日本語1」の単位取得率は70%前後と考えてよいだろう。2021年度は従来と条件が異なり、イレギュラーな対応を多々迫られた状況にあったことを考えると、「日本語1」の単位取得率68%という数字は、健闘したと言ってよいだろう。

なお、2021年度後期に「日本語1」を受講した22名のうち、翌学期の2022年前期も継続して日本語科目を受講した留学生は18名で、2021年夏の渡日前日本語学習からの継続率は78%であったことを記しておく。

## 8. 今後の課題

新型コロナウイルス感染状況は一進一退を繰り返しているが、留学生の渡日はほぼ正常化しつつある。今後、渡日前のひらがな・カタカタ学習へのニーズ把握に努めるとともに、その後の日本語科目履修、日本語学習継続にどのような影響を与えるか継続して検証する必要がある。

また、「日本語1」には英語コースの留学生に加えて、博士課程の学生、教員研修留学生等も受講するが、この渡日前学習で文字既習の学生と未習の学生の間で、文字の理解という点で差がつき、コース終了時の到達度が異なる可能性がある。効果の検証を行い、英語コースの留学生以外の10月入学者の受入れ、また4月入学者にも同様の学習機会を提供する可能性を探りたい。

### 参考文献

ディスコ（2021）「外国人留学生の就職活動状況」ディスコキャリアサーチ  
[https://www.disc.co.jp/wp/wpcontent/uploads/2021/08/gaikokujinryugakusei\\_202108.pdf](https://www.disc.co.jp/wp/wpcontent/uploads/2021/08/gaikokujinryugakusei_202108.pdf)  
（2022.7.31閲覧）

※おもな執筆担当箇所は次のとおりである。

佐々木 全体の統括、6、7

袴田 1、2、3、5、8

熊井 4